

第200回撮影例会報告

相澤幹事

日時 平成24年11月10日(土) 14時~17時15分 晴れ 参加者9名
撮影場所 材木座海岸、和賀江島
撮影対象 海岸風景、富士山・江ノ島の夕景

本日は午前研修会が開催されたので、昼食後集合時間を30分繰り下げて14時過ぎに鎌倉駅表口に再集合しバスで光明寺前下車、材木座海岸へ出る。秋晴れの気持ちの良い天気の下、目にまぶしい海岸の波も穏やかな日だった。材木座海岸を逗子方向の和賀江島へ向かいながら沖のウインドサーフィンや海岸に被写体を捜して撮る。海面に反射する太陽の光がまぶしい、その光の中に入ったサーファーを狙ってみるが光が強くて露出が難しい。光の具合とサーファーがいい形になるのを待って撮ってみるが、今日はサーファーの数が比較的少ないせいの中々シャッターチャンスも巡ってこないのを辛抱強く待つ。夕景撮影までの時間をつぶしながら和賀江島へ移動した。

今日の潮の干満は14時過ぎが満潮で夕方に向かって引き潮の状態、昔の和賀江島の石組みの跡が少し海面から出ているのが見られた。江ノ島、稲村ヶ崎方向には富士山も望まれ夕焼けを期待して夕景撮影のカメラ位置を思い思いに選んで撮影する事にした。結果的には2か所に分かれて撮影した。

その1か所は材木座海岸の東端で和賀江島の石碑がある海岸へ降りる石段から、海面から露出した和賀江島の石組み跡とその近くにいつも係留されている3隻の漁船を前景にして富士山を稲村ヶ崎の上方に、左手に江ノ島を望む場所。もう1か所は和賀江島から少し南寄りの逗子マリーナに近い公園の岸壁から富士山を江ノ島と稲村ヶ崎の間に望める場所で、こちらは和賀江島の前景は入らないが富士山の姿が正面に大きく望める。

昼間の晴天から日没の夕焼けを期待して、太陽の光と雲の変化を色々露出設定を変えて撮影しながら日没を待ったが太陽の上方にかたまった厚い雲が薄くならず期待したほど夕焼けが赤く染まらなかったのが残念だった。

予想された事であるが、この季節の太陽が沈む位置は富士山に対して大分南寄り、富士山と大分離れているので夕日が赤く染まらなかったのは如何ともしがたかった。

日没撮影を終了して集合場所に集まった時、海岸の波打ち際に道路の街灯の光が映り込んできれいな光を反射した波を何枚か撮影して17時15分本日の撮影例会を終了した。飯島バス停よりバスで鎌倉駅へ戻る。



新春ギャラリー展

鎌倉文化協会(写真連盟の上部団体)が主催する新春ギャラリー展の写真の部では、鎌倉写真連盟13団体が、過去にどこかで入選した写真の中から各クラブ2点展示する方針となった。当クラブから出展する作品を募集した中から、山口先生に2枚の写真の取り合わせも考慮して下記2点を選考して頂いた。応募頂いた皆さまのご協力に感謝します。

1.「天駆ける」(富士山の写真) 甲斐会員 2.「風渡る」(渡良瀬遊水地の写真) 池田会員
平成25年1月5日(土)~13日(日)に鎌倉生涯学習センターのギャラリーで展示されるので、他のクラブの写真と合わせて鑑賞下さい。

会員状況

11月から高橋 和子さんが新しく加入されました。現在の会員数は18名です。新しい名簿を添付します。(会員以外には秘 扱として下さい)